



正月で遊ばれる羽根つき。羽子板の羽根の実、黒くて固い玉は「むくろじ」という植物の種で、漢字では「無患子」と書きます。「子が患わ無い」という意味で、羽子板が無病息災のお守りになった由来です。

喫茶ボランティア養成講座 開催のお知らせ

テーブルで行う「茶道」を楽しく学んでみませんか？
道具は不要で、普段着のままでお越しいただけます。
講座修了後は当センターでおこなう『お抹茶サロン』の運営に携わるボランティアをしていただけます。(月1回予定)
今年から新しいことを始めたい方は、ぜひご参加ください。

日時 平成29年2月18日・25日・3月4日(土)全3回
午後1時半～午後3時半(受付は午後1時～)
場所 大正区ふれあい福祉センター2階
締切 平成29年2月14日(火)
※問い合わせ・申込みはボランティアビューローまで



ペットボトルボランティア募集

ペットボトルキャップを選別・仕分けする作業です。
場所：大正区ふれあい福祉センター2階
日時：随時(2時間程度)
※問い合わせ・申込みはボランティアビューローまで



お問い合わせ

大阪市大正区社会福祉協議会 ボランティアビューロー(担当：繪本・会田)
〒551-0013 大阪市大正区小林西1-14-3
TEL：6555-7575 FAX：6555-0687

ボランティアグループ訪問

◎ 民謡 馬庭会

1月18日に「たいしょう生協診療所」にて、「民謡 馬庭会」が公演されているところをお伺いしました。こちらでは定期的に公演を行なっていて、今年初めての公演ということで大人数のメンバーが集まりました。「馬庭会」は、代表の馬庭さんの三味線・民謡教室に通う方たちがメンバーで、おもに高齢者施設で活動されています。利用者の前で、三味線奏者4名の伴奏による「大阪音頭」を皮切りに、次々と歌が披露され



ます。太鼓は利用者の方が担当していて、三味線のハリのある音と太鼓の響きによる息のあった演奏が心地よく感じられました。曲目の中には「お富さん」や「北国の春」など民謡ではない歌もあり、馬庭さんによると、利用者の方が聞き馴染みのある懐かしい歌と一緒に歌って貰えればとのこと。休憩中にも、メンバーの方が利用者の方に声を掛けるなど、メンバーと顔馴染みなことで利用者の皆様もリラックスした様子でした。「炭坑節」の後、唄のメンバーが赤いちゃんちゃんこに着替え、銭太鼓を手にして「大黒舞」を舞われました。新年に相応しい演目が最後に披露され、14曲1時間の熱演が幕を閉じました。

◎ 絵本の会 大正

1月19日に「大正保育所」にて、「絵本の会 大正」が活動されているところをお伺いしました。幼児のクラスに行くと、教室は行儀よく座って待っている子どもでいっぱいでした。始まりの手遊びの後、大型絵本の「よくばりすぎたねこ」の読み聞かせ。渡口さんによる表情豊かでユーモラスな読み聞かせに、みんな熱心に聞き入っています。続いての「もちづきくん」では、お餅が伸びるシーンに合わ



せて大型の絵本が広がる仕掛けで、子どもたちから「でっか!」「でっかい!!」と歓声が上がりました。手遊びを挟んだ後の「おおきなかぶ」はエプロンシアターで、私も今回初めて観ました。代表の近藤さんのエプロンのポケットにかぶの葉っぱが顔を覗かせていて、お爺さん、お婆さんから猫、ネズミのイラストをどんどんエプロンに貼り付けていき、おはなしを進めます。「うんとこしょ、どっこいしょ」の子どもの掛け声がどんどん大きくなり、かぶがポケットからぴよこんと飛び出すと、また「でっかい!!」の歓声(笑)。パネルシアターの「わらしべ長者」では、登場人物が貼り付けられる度に、子どもたちが感想を声に出して、おはなしの中に入っていました。「絵本の会 大正」では、区内の保育所での活動のほか、大正図書館にて、第2・4水曜日に乳幼児向けの絵本の読み聞かせ「がたんごとん」にも参加されていますので、ぜひ足をお運びください。